

# はい！ ポーズ😊

5月生まれのみんな  
お誕生日おめでとう。



あんどう ゆうき  
安藤 優希ちゃん H16.5.2生  
5月2日でもう1歳。健康で元気で笑顔のかわいい女の子に育ってね。  
申原大平  
安藤 隆美さん・真由美さん



よこい かける  
横井 翔くん H16.5.22生  
毎日部屋中逃げ回りパパとママを困らせる元気な男の子。ちょっと泣き虫さんだけど、保育園でお友達がいっぱいできるといいね。  
大井町岡瀬沢西  
横井 聡さん・伸予さん



いちかわ まひろ  
市川 真比呂ちゃん H15.5.6生  
外でお兄ちゃんと砂場で遊ぶのが大好きなまあちゃん。これからもお兄ちゃんと仲良く元気に育ってね。  
長島町久須見四ツ谷  
市川 哲雄さん・優子さん



こばやし たけし  
小林 尊くん H16.5.22生  
毎日、お兄ちゃんとミニカーで仲良く遊んでいます。いつもにっこり、笑顔がとっても可愛いたっくん。これからも元気に大きくなってね。  
大井町下本町  
小林 真也さん・美穂さん



きたがわりん たらう  
喜多川 倫太郎くん H16.5.13生  
音楽に合わせて体をゆらゆら・お手を顔に合わせていないいないバアー。少々(?)おデブちゃんの倫。その笑顔には癒されるよ。お姉ちゃんと早く追いかけてこけるといいね。ゆっくり大きくなーれ。  
岩村町山上  
喜多川 誠さん・由香里さん



ながや ゆうま  
永谷 優芽ちゃん H15.5.28生  
歌って踊るのが大好きで、いろいろ聞かせてくれます。お話もたくさんできるようになって、これから楽しみです。  
長島町正家中  
永谷 典久さん・あいさん



いのうえ ここね  
井上 心響ちゃん H16.5.17生  
好奇心旺盛で、家の中を探検して散らかしながら遊んでいます。女の子らしく素直で元気にすくすく育ってね。  
大井町岡瀬沢  
井上 正義さん・恵子さん



まつい すずか  
松井 涼花ちゃん H15.5.30生  
みんなに好かれるすーちゃん。これからも元気いっぱい笑顔もたくさん見せてね。  
大井町雇用促進  
松井 秀樹さん・悦子さん



まきの じゅんこ  
牧野 純子ちゃん H15.5.17生  
元気いっぱい。ちょっぴりお茶目な我が家の人気者。おじいちゃん、おばあちゃんが大好きでいつも大切にしてくれます。いつまでも思いやりのある優しい子いてね。  
長島町永田  
牧野 幹夫さん・幸子さん

このコーナーでは、1歳・2歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。6月に誕生日を迎えるお子さんの写真(なるべく1人で写っているもの。裏に氏名をご記入ください)に住所(自治会)氏名、生年月日、性別、電話番号、両親の氏名と簡単なコメントを添えて、5月13日(金)までに申し込みください。申し込み多数の場合は先着順により掲載します。  
申し込み・問い合わせ 〒509-7292市役所秘書広報課広報係(内線311・古屋)



ボランティアグループ  
恵那げんきーずの代表

すずき とおる  
鈴木 徹さん  
大井町鏡山・68歳

暖かい午後の日差しの中、ある老人ホームで入居者の笑顔がいっぱい広がった。ボランティアグループ「恵那げんきーず」が踊りや手品、ハーモニカで、皆さんを和ませたからだ。「皆さんの喜びが私の楽しみです」と語る鈴木徹さん。

鈴木さんが所属する恵那げんきーずは、ハーモニカ担当の鈴木さんと手品担当の安田栄作さんの二人組み。ボランティアグループ・やよい会の皆さんや豊精会の皆さんと一緒に老人ホームなどを回り、三十分から一時間ほどの楽しいひとときを一緒に過ごしている。

ハーモニカを始めたのは「部屋の掃除をしていたら、昔のハーモニカが出てきたので」と、ふとしたきっかけからだった。独学で習得し、懐かしいメロディや童謡などレパートリーを増やした。ハーモニカを生かして何か社会に貢献できないかと考え、知り合いに相談したところ、市内の老人施設を紹介され、そこで安田さんと出合い意気投合。一緒にボランティア活動を始めて今年で三年目を迎える。

「高齢者が元気になれば、介護や医療費など負担も少なくなり、介護者の時間的余裕や精神的な負担も少なくなる。みんなが活動すれば、まさに活気がつくのでは」との思いが



## ボランティアとは人間愛



ハーモニカで懐かしい曲を披露する鈴木さん

「高齢者の元気はまちの元気」をモットーとし、月に十回ほど活動。昨年は百二十三回、三千六百人以上の方が鈴木さんのハーモニカに耳を傾けた。

「最初は全く興味を示さなかった方が何げなくリズムを取っていたり、スタッフによる献身的な介護を垣間見たりと、いろいろな感動に出会えた」と喜びを語る。

「ボランティアは決して一方通行のものではなく、感動や喜びを与え合う双方向のもの。声を掛けていただければ、都合のつく限りどこへでも伺いますよ」と鈴木さん。またどこかで笑顔の花を咲かせてくれるだろう。